

科目名 (科目番号)	クリニカル リーズニング (062731)	教員名 渡邊 昌宏 他	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー			渡邊研究室	
授業概要	クリニカルリーズニング(臨床推論)とは、臨床場面における患者の評価、治療から予後予測、全般的な患者のマネジメントに至る一連の過程におけるセラピストの思考過程を意味する。授業は講義ではなく、小グループによる学生のディスカッションを中心に行なう。基本的な整形外科疾患、中枢神経疾患からテーマを与え、今までに学習した知識および自分達で調べた内容を統合し、問題を解決していく課程を学習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	オリエンテーション	到達目標:クリニカルリーズニングの考え方を理解する。 学習内容:クリニカルリーズニングについて学ぶ。				
	2	PBL	到達目標:症例提示から、問題点の抽出方法を習得する。 学習内容:シナリオ1(整形外科疾患)について学ぶ。				
	3	PBL	到達目標:追加情報から、問題点と評価項目の関連させるための思考方法について学び習得する。 学習内容:シナリオ1(整形外科疾患)について学ぶ。				
	4	PBL	到達目標:症例に関する最も重要な問題点を明らかにし、理学療法介入の方法について学び身につける。 学習内容:シナリオ1(整形外科疾患)について学ぶ。				
	5	PBL	到達目標:症例提示から、問題点の抽出方法を習得する。 学習内容:シナリオ2(中枢神経疾患)について学ぶ。				
	6	PBL	到達目標:追加情報から、問題点と評価項目の関連させるための思考方法について学び習得する。 学習内容:シナリオ2(中枢神経疾患)について学ぶ。				
	7	PBL	到達目標:症例に関する最も重要な問題点を明らかにし、理学療法介入の方法について学び身につける。 学習内容:シナリオ2(中枢神経疾患)について学ぶ。				
	8	まとめ	到達目標:理学療法士としての専門用語を取り入れながら他者に報告することで、症例に関しての各評価と問題点を結びつける考察ができるようになる。 学習内容:シナリオについて学んだことを報告する。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	PBLでの貢献度(60%)、課題(40%) (それぞれ評価表に基づいて評価をおこないます)						
教科書	資料を配付いたします。						
参考図書							
教員からのメッセージ	グループディスカッション中心の授業になります。積極的に自分の意見を述べていただきたいと思います。思考過程、問題解決の道筋、手段等は実習および卒業後も役立ちます。最終的に実習で対応できるように症例の考察までおこなっていただきます。						